

Title	こどもの人格形成と絵本研究(こどもの絵本研究はじまる)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.23-No.1, 2013.9 : 41-41
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=4616
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

こどもの人格形成と絵本研究

2012年度4月に聖学院大学では、人間福祉学部にてこども心理学科が開設された。開設の根底には2011年3月11日の大震災から今なお続いている人々の苦悩や苦痛、悲しみへの深い共感がある。子どもの健やかな成長に寄り添う専門家の育成が急務という強い思いに根差した学科である。その学びを通して学生自身の内面の成長を支援し、困難に打ち勝つ「生きる力」を育てる。そのような学生の身の内に育つ力の育成には、地域との具体的な結びつきの経験の場が欠かせない。そこで、こども心理学科では、震災地でのこどもの心のケアを目的とした「絵本の読み聞かせプロジェクト」を行っている。

絵本という文化・歴史的なモノが、読み合う活動を通して、こどもの発達、こどもや大人の心の癒し効果があるという知見は、心理学的な手法を用いた研究から明らかにされてきている。しかし、地域に根ざした本格的な研究知見は、まだまだ蓄積されていない。

絵本を介した活動が大人と子どもの間に生じる「こころ」にどう働きかけるか、また、地域支援にいかに関与することができるのか、また学生の生きる力にどう貢献するのか、を明らかにしていくことで、絵本での支援は、心のケアのみならず、育児に悩む大人への援助、こどもの発達へのアプローチ、障害のある子どもへの学びのアプローチ、学生の生きる力へのアプローチなど、多方面で貢献できると考えられる。

この主旨のもと、6月29日に第一回研究会が本学で開催された。詳細は次号で報告する。